

皮膚糸状菌症って どういう病気？

カビの仲間

皮膚糸状菌症はカビの仲間、真菌症ともよばれます。犬猫をはじめウサギ、ハムスターなどほとんどの動物で問題となります。食べ物に生えるカビのように直接肉眼では確認できません。顕微鏡や培養検査で確認します。

原因菌としてはいろいろな種類があり、環境中に普通に見られることも多く、幼い動物や抵抗力が弱まった時に感染することがあります。健康な動物やヒトではほとんど問題にならないとされています。

症状は脱毛など

感染すると、皮膚で菌が増殖して、炎症を起こしながら脱毛し、円形にフケをとめないながら広がるのが特徴的です。



必ず治る病気です！

半数以上の皮膚科医で経験があると、報告があり、適切な治療で必ず治る病気ですし、脱毛部分も治療で発毛が始まります。

医師にかかるときは、動物飼育歴を伝えましょう。

動物は無症状のことも…

動物側の皮膚糸状菌症がいったん治ったように見えて、潜伏感染していることもあるので、注意が必要です。

人獣共通感染症 (Zoonosis) から あなたを守るために

① 動物に咬まれたりひっかかれたりしない ように気をつけましょう

- 温かな動物を選んだり、しつけをしたりして咬まれないようにしてください。
- 動物の爪を短くしておくとういでしょう。

② 過度の接触はいけません

- キスをしたり、一緒に寝ないようにしましょう。

③ 生肉を与えないように

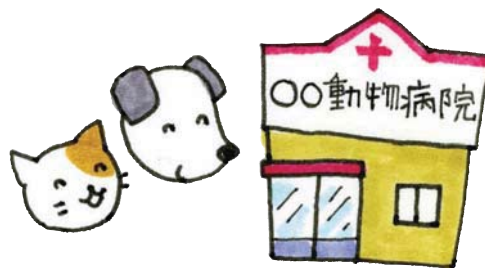
- 生の肉には病原体が入っていることがあります。加熱して与えるとよいでしょう。

④ 排泄物は適切に処理しましょう

- 排泄物は速やかに処理しましょう。その後の手洗いも忘れずに。

⑤ 定期的に検診を受けましょう

- 獣医師による定期的な検診で動物の健康を維持しましょう。また、ワクチンなどで予防できる疾病は予防しましょう。



2007年 日本小動物獣医師会
人獣共通感染症委員会編

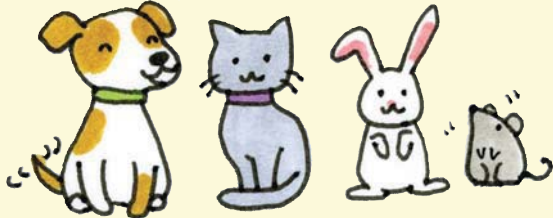
ひふしじょうきんしょう 皮膚糸状菌症



どうやって感染するの？

皮膚糸状菌症はこうして感染します。

直接感染の場合



皮膚糸状菌症の動物や
まだ完全に治りきっていない無症状の動物



直接、菌が付着して感染

間接感染の場合

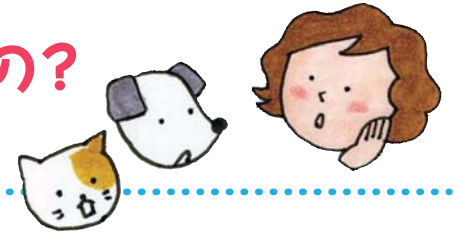


菌の付着している物、フケなど



菌が付着して感染

ヒトや動物に感染するとどうなるの？



ヒトの場合

症状

首や腕などの露出部位に多く発生し、比較的小型で赤みの強い紅斑*から始まり周囲に円形状に広がっていきます。家族内発生をしばしば見ることもあります。

*血管拡張や充血によって起こる皮膚の赤み



下肢露出部の病変



襟首露出部の病変



治療

医師より処方された外用薬や内服薬で治療します。

診断

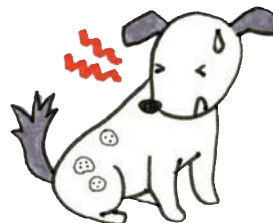
皮膚科にて顕微鏡検査や培養検査で確認します。



動物の場合

症状

脱毛部と有毛部の境のはっきりした病変が円形状に広がっていきます。中心部から治り、発毛していく場合もあります。



治療

獣医師より処方された外用薬や内服薬で治療します。

診断

動物病院にて顕微鏡検査や培養検査で確認します。

